

日本語 リーディングコンティニューム

準備期 3～5歳	萌芽期 4～6歳	開始期 5～7歳	初歩期 6～8歳	形成期 7～9歳
<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1. 読み物(本、雑誌、図など)を自分で選び始め、お気に入りの本がある <input type="checkbox"/> 2. サイン、ラベル、ロゴ(周囲の印刷文字)を読むことに興味を示す <input type="checkbox"/> 3. 文字になった自分の名前が分かる <input checked="" type="checkbox"/> 4. 本を正しく持って、ページをめくる(本が何のためのものか分かり、日本語の縦書きの本は右から開き、横書きの本は左から開く) <input checked="" type="checkbox"/> 5. 読本やお話の初めと終わりを示すことができる <input checked="" type="checkbox"/> 6. 文字がいくつか読める <input type="checkbox"/> 7. お話を聞いて反応する <input type="checkbox"/> 8. 本の挿絵についてコメントする <input type="checkbox"/> 9. グループで読むアクティビティー(本、ライム、詩、歌)に参加する 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1. パターン(定型表現や繰り返し)のある本、詩、馴染みの本を暗記する <input type="checkbox"/> 2. サイン、ラベル、ロゴ(など、周囲にある印刷された文字)を読み始める <input type="checkbox"/> 3. 読みたいという意欲をはっきり示す <input checked="" type="checkbox"/> 4. 読んでいる真似をする <input checked="" type="checkbox"/> 5. お話をするとき絵を使う <input checked="" type="checkbox"/> 6. 助けを得て、横書きの本は上から下へ、左から右へ 前から後ろへ読み、縦書きの本は上から下へ、右から左へ、前から後ろへ読む <input checked="" type="checkbox"/> 7.* 個々のひらがなの文字がほとんど読める <input checked="" type="checkbox"/> 7. ひらがなとかたかなと漢字の区別が付き始める <input checked="" type="checkbox"/> 8. 文中の人の名前やことばが分かる <input checked="" type="checkbox"/> 9. 助けを得て、意味のある推測をすることができる <input type="checkbox"/> 10. 顔を踏んだり、ことばで遊んだりする <input type="checkbox"/> 11. よく知っている本や詩を読むのに参加する(いっしょに読み始める) <input type="checkbox"/> 12. 助けを得て音読してもらった本と自分の体験を結びつけることができる 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1. 単純なパターンの本が読める <input type="checkbox"/> 2. 自分で書いたものを読み始める <input type="checkbox"/> 3. 短時間、(5-10分)一人で本を読みはじめる <input type="checkbox"/> 4. 好きな読み物について人と話し合う <input checked="" type="checkbox"/> 5. さし絵と文字に頼って読む <input checked="" type="checkbox"/> 6. 指で文字を指しながら声を出して読む <input checked="" type="checkbox"/> 7.* ひらがなで書かれた文を文節に区切って音読でき、そのかたまりの意味が分かる <input checked="" type="checkbox"/> 8.* 簡単なひらがな、カタカナ、漢字で書かれた日常語彙を認識する <input checked="" type="checkbox"/> 9. 単語を読むときに、音節に分かれることに気付き始める <input checked="" type="checkbox"/> 9. 擬音語に興味を持ち始める <input checked="" type="checkbox"/> 9. ひらがなとカタカナと漢字の区別がつく <input checked="" type="checkbox"/> 10. 意味のある推測をするようになる <input checked="" type="checkbox"/> 11. 本の題名や作者(本の特徴)が分かるようになる <input type="checkbox"/> 12. お話の主な出来事や考えを再生する <input type="checkbox"/> 13. お話についての教師主導のディスカッションに参加できる <input type="checkbox"/> 14. 自分自身「本が読める子」だと思っている <input type="checkbox"/> 15. 教師主導のクラスのディスカッションで、どうしてある作品が好きか／嫌いか説明する 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1. 読みの初歩の子どものために書かれた簡単な本が読める <input type="checkbox"/> 2. 読みの初歩の子どものためのやや複雑な本が読める <input type="checkbox"/> 3. 教師の指導のもと、文章を読んで、簡単な指示(文字による)に従うことができる <input type="checkbox"/> 4. 大体基本的な読み物の種類が分かる(例えば、小説、ノンフィクション、詩) <input type="checkbox"/> 5. 音読するときに基本的な句読点を理解し、文を区切りながら読む <input type="checkbox"/> 6. 一人で本を読むことができる(10-15分) <input type="checkbox"/> 7. 自分で読みたいものを選ぶことができる <input type="checkbox"/> 8. 読むことから情報を得て、その情報をシェアできる <input checked="" type="checkbox"/> 9. 意味上のでてがかりを使って読む(文脈) <input checked="" type="checkbox"/> 10. 文の構造上のでてがかりを使って読む(文法) <input checked="" type="checkbox"/> 10. 語構成(接頭辞、接尾辞など)に留意して、頻度数の高い語彙が認識できる <input checked="" type="checkbox"/> 10. ひらがなの特殊用法(「を」「へ」「は」、長音、撥音、促音)が認識できる <input checked="" type="checkbox"/> 10. 基本的な漢字語彙(1～100)が認識できる <input checked="" type="checkbox"/> 11.(読み誤りの)自己修正を始める <input type="checkbox"/> 12. 教師の助けを得て、お話の初め、中盤、終わりが再生できる <input type="checkbox"/> 13. 教師の助けを得て、お話中の人物や出来事について、話し合える <input type="checkbox"/> 14. 教師の助けを得て、自分の読みのレベルに適した読み物を選ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1. 簡単なチャプターブック(やや長めで章立てのある本)を読むことができる <input type="checkbox"/> 2. レベルにマッチしたいろいろな読み物を、助けを得て選び、読み、読み終わる。 <input type="checkbox"/> 3. すらすら声に出して読める <input type="checkbox"/> 4. だんだんに黙読の時間が長くなる(15-30分) <input checked="" type="checkbox"/> 5. 読み物のタイプや目的によって適切な読み戦略を使う <input checked="" type="checkbox"/> 6. 未知のことばに遭遇したとき、語彙構成(語幹、接頭辞、接尾辞、語のかたまり)を手がかりとして使う <input checked="" type="checkbox"/> 7. 意味の手がかりを使って語彙を増やす(文脈) <input checked="" type="checkbox"/> 7. 基本的な漢字語彙(80～200)が認識できる <input checked="" type="checkbox"/> 8. 意味が通じるように自己修正をする <input checked="" type="checkbox"/> 9. 文字で書かれた指示に従う <input checked="" type="checkbox"/> 10. 章のタイトルや目次が何を意味するのか分かる(テキストの構成) <input type="checkbox"/> 11. 時間的な流れにそってお話の出来事をまとめたり、再生したりできる <input type="checkbox"/> 12. 読み物の中の事実、人物、状況について反応し、自分自身と関連づける <input type="checkbox"/> 13. 登場人物や出来事を比較対照することができる <input type="checkbox"/> 14. 助けを得て、行間を読み取ることができる <input type="checkbox"/> 15. 助けを得て、自分の読みの戦略を自覚して目標設定ができる
伸長期 8～10歳	成熟期 9～11歳	熟達期 10～13歳	発展期 11～14歳	独立期
<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1. 中級レベルのチャプターブック(やや長めで章立てのある本)を読むことができる <input type="checkbox"/> 2. 自分にレベルに合った読み物を選ぶ <input type="checkbox"/> 3. 読み物の種類が広がる(例えば、現代物、歴史小説、ファンタジー) <input type="checkbox"/> 4. 表現たっぷりに音読する <input checked="" type="checkbox"/> 5. 資料(百科事典、CD-ROM、読み物)を使って情報を得、助けを得て、整理する <input checked="" type="checkbox"/> 6. 助けを得て、目次、見出し、語彙表、索引を使って、情報を集める。 <input checked="" type="checkbox"/> 7. 助けを得て、図表や地図から情報を集めて使うことができる <input checked="" type="checkbox"/> 8. 助けを得て、文脈、いろいろな読みの戦略や参考資料を使って語彙を増やすことができる <input checked="" type="checkbox"/> 9. 事実と意見についての違いが分かる <input checked="" type="checkbox"/> 10. 一人で読んで、マルチステップの指示に従うことができる <input checked="" type="checkbox"/> 10. 基本的な漢字語彙(160～440)が認識できる <input type="checkbox"/> 11. 助けを得て、状況、筋、登場人物、視点など(文学作品の要素)について話し合う <input type="checkbox"/> 12. 作品の中の事実や出来事だけでなく、課題やアイデアについて反応する <input type="checkbox"/> 13. ほかの作家、書物、視点と関連づける <input type="checkbox"/> 14. 助けを得て、小グループでの文学作品についての話し合いに参加できる <input type="checkbox"/> 15. 助けを得て、自分の考えや意見や理由を述べ、例を出してそれをサポートする 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1. 年少者用文学作品に興味を持って、読み始める <input type="checkbox"/> 2. 助けを得て、広範囲な読み物を自分で選び、読み、読み終わる <input type="checkbox"/> 3. 本を選ぶストラテジーや判断基準が発達しはじめる <input type="checkbox"/> 4. 表現豊かに、すらすらと自信を持って音読できる <input type="checkbox"/> 5. 長時間(30-40分)黙読する <input checked="" type="checkbox"/> 6. 情報を得るために資料(例:百科事典、記事、インターネット、ノンフィクション)を使い始める <input checked="" type="checkbox"/> 7. 目次、見出し、語彙表、索引(文書を整理するもの)を使って一人で情報を集める <input checked="" type="checkbox"/> 8. いろいろな領域の語彙を増やすためにリソース(各種辞書)を使い始める <input checked="" type="checkbox"/> 8. 漢熟語、抽象語彙に慣れ始める <input checked="" type="checkbox"/> 8. 基本的な漢字語彙(240～640)が認識できる <input type="checkbox"/> 9. 文学作品を状況、筋、登場人物、主題(文学作品の要素)、著者のテクニクの点から議論し始める <input type="checkbox"/> 10. 助けを得て、小グループで文学作品についてよく考えて話し合ったり、書いたりする <input type="checkbox"/> 11. いろいろな教科の学習や文学作品への口頭、また作文による応答で、新しい語彙を使い始める <input type="checkbox"/> 12. 行間を読むことにことによってより深い意味を理解する <input type="checkbox"/> 13. 読む力を高めるために、目標を設定、ストラテジーを認知し始める 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1. 子どものための内容が複雑な文学作品を読む <input type="checkbox"/> 2. 助けを得て、情報のある文書(例:求人広告、パンフレット、スケジュール、カタログ、マニュアルなど)を読んで理解する <input type="checkbox"/> 3. 読み教材を独自に選択するストラテジーや枠組みが発達する <input checked="" type="checkbox"/> 4. 情報を得るための資料(例:百科事典、記事、インターネット、ノンフィクション)を自分で探し出す <input checked="" type="checkbox"/> 5. 教師の指導のもと、グラフ、図、表、地図から情報を集め分析する <input checked="" type="checkbox"/> 6. トピックの理解を深めるため、複数のノンフィクションの資料から情報を得て、教師の指導のもと、まとめることができる <input checked="" type="checkbox"/> 7. 語彙を増やすため一人で参考資料(辞書やシソラス)を使う <input checked="" type="checkbox"/> 7. 基本的な漢字語彙(440～825)が認識できる <input checked="" type="checkbox"/> 7. 漢熟語、抽象語彙に対する認識が深まる <input type="checkbox"/> 8. 文学的な手法(例:比喩、隠喩、擬人化、暗示)が分かる <input type="checkbox"/> 9. 主題、目的、文体(構成要素)、技法の観点から文学作品について議論する <input type="checkbox"/> 10. 小グループディスカッションで文学作品について意味のある意見を出し始める <input type="checkbox"/> 11. 文学作品に対して内容のある感想文を書き始める <input type="checkbox"/> 12. 教科学習や文学作品のディスカッションや感想文で、複雑な語彙を使い始める <input type="checkbox"/> 13. 理由や例を挙げて、考えや結論を支持する <input type="checkbox"/> 14. 文学作品を読んで、行間の意味を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1. 高度な児童文学や青少年向き作品を読む <input type="checkbox"/> 2. さまざまな種類の本を一人で選び、読み終わることができる <input type="checkbox"/> 3. より高度な読み物やプロジェクトを選び始める <input checked="" type="checkbox"/> 4. 一人でいろいろな情報をまとめて、主題に対する理解を深める <input checked="" type="checkbox"/> 5. グラフ、図、表や地図などから情報を集めたり、分析したりして、得た情報を使い始める <input checked="" type="checkbox"/> 5. 基本的な漢字語彙(640～1006)が認識できる <input checked="" type="checkbox"/> 5. より高度な漢熟語、抽象語彙の認識が深まる <input type="checkbox"/> 6. よく考えた意見を出して、文学作品についてのグループディスカッションに貢献する <input type="checkbox"/> 7. 文学作品に対して内容のある感想文を書くことができる <input type="checkbox"/> 8. 読みの内容に対して批評、解釈、分析し始める <input type="checkbox"/> 9. 文学作品を評価する基準ができ始める <input type="checkbox"/> 10. どんな本(文学作品)を読んだらよいか、人に推薦してもらったり、意見を求めたりする <input type="checkbox"/> 11. 読書についての目標を自分で設定する 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1. 青少年や大人のための文学作品を読む <input type="checkbox"/> 2.3. 目的意図に応じて、さまざまなもの(例:新聞、消費者レポート、申請書、書式)を読み、広範囲から情報を選び、理解する <input type="checkbox"/> 4. より高度な読み物をすすんで自分から読み、楽しむことができる <input type="checkbox"/> 5. より高度な読み物を進んで自分から読み、情報を得たり、問題解決したりする <input type="checkbox"/> 6. 高度な読みのタスクに対応する力がある <input checked="" type="checkbox"/> 7. 一人で、グラフ、図、表、地図などから情報を集め、分析、使用する <input checked="" type="checkbox"/> 7. 基本的な漢字語彙(1006～1200)が認識できる <input type="checkbox"/> 8. 文学的な表現技術(例:比喩、イメージ、風刺)を分析する <input type="checkbox"/> 9. 文学作品についての高度なディスカッションにおいて、独自の洞察に基づいた、説得力のある意見を述べるができる <input type="checkbox"/> 10. 読書経験や自分の体験と関連づけて、文学作品をより深く読むことができる <input type="checkbox"/> 11. 作品の内容を批判的に評価、解釈、分析する <input type="checkbox"/> 12. 文学作品を評価する基準が確立し、それを表現できる <input type="checkbox"/> 13. 積極的に自分から読書仲間を広げる

ライティングコンティニューム

準備期 3～5歳	出現期 4～6歳	進歩期 5～7歳	始まり 6～8歳	拡大期 7～9歳
<ul style="list-style-type: none"> ☑ 意味の伝達に主に絵に頼る ☑ 絵に“語”を加えたり貼ったりしはじめる ☑ 名前(ファーストネーム)を書く ☐ 意味を伝達する活字の自覚をしめしだす ↗ 紙に絵以外をしるす(落書き) ↗ 一貫性はないが認識できる語を表わす文字を書く ☺ 自分の絵や書いたものについて話をする 	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 意味の伝達に絵と活字を使う ☑ 絵を説明または援護する文字を書く ☑ 記号や符号、名前、単語(環境活字)を写す ☐ 文字・音の関係に理解をしめしだす ↗ 大文字を活字体で書く ↗ 音にあった文字を見つける ↗ 始めの子音から単語がつかれる ↗ 始めの子音、おしまいの子音から単語がつかれる ☺ 自分の書いたものを読むまねをする ☺ 自分を著者として見る ☺ 間違えを恐れず書く 	<ul style="list-style-type: none"> ☑ トピックについて1～2文書く ☑ 名前と熟知した単語を書く ☐ 書き物の考えを自分で生む ↗ 上から下、左から右、前から後ろ方向に書く ↗ 大文字・小文字が混ざりあう ↗ 大文字を試用してみる ↗ 句読点を試用してみる ↗ 単語間にスペースをあけ始める ↗ 増大しはじめた音の区切りの認識(例、音素、音節、リズム)を使って単語を書く ↗ 綴りの因習的形式を顧慮せずに、音を基準として単語を綴る ☺ 自分の書いたものを読み始める 	<ul style="list-style-type: none"> ☑ トピックについて数文書く ☑ 観察や経験について書く ☑ 補助があれば、短いノンフィクションの文(トピックについての簡単な事実)を書く ☐ 書き物のトピックを自分で選ぶ 〃 補助があれば、自分の書き物を読み間違えに気付く 〃 補助があれば、詳細を加え校正する ↗ 一貫して単語間にスペースをあける ↗ 簡単な単語、使用頻度の高い単語を正しく綴る ↗ ピリオドと大文字を正しく使いはじめる ☺ 自分の書いたものを他人とシェアする 	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 補助があれば、短いフィクションや詩を書く ☑ 補助があれば、様々な短いノンフィクション(トピックについての事実、手紙、リスト)を書く ☐ 中心になる考えのもとに書く ☐ 完全な文を使って書く ☐ 補助があれば、フィクション・ノンフィクションともに考えを論理的順序にまとめる ☐ 興味深い言語を認識し使い始める 〃 補助があれば、書く前の方策(ウェブ・ひらめき)をいくつか使う 〃 他の人の書き物を聞き、意見を述べる 〃 自分の書き物に対しての他人の提案を考慮にいれはじめる 〃 補助があれば、説明や詳細を加える 〃 補助があれば、大文字・句読点を校正する 〃 補助があれば、自分の書いた物を発表する ↗ 読みやすい字を書く ↗ ほとんどの使用頻度の高い単語を間違えなく書き、因習的に綴れる方向に向かっている ☺ 補助があれば、自分の書き方の方策を認識し、目標を定める
橋渡し期 8～10歳	能弁期 9～11歳	熟練期 10～13歳	連結期 11～14歳	独立
<ul style="list-style-type: none"> ☑ 感情や意見を書く ☑ 始め、真中、終わりのはっきりしたフィクションを書く ☑ 補助があれば、注意深く選択した言葉をつかって詩を書く ☑ 補助があれば、整理されたノンフィクション作品(例、報告書、手紙、リスト)を書く ☐ 考えを整理するのに段落を使い始める ☐ 補助があれば、強変化動詞、興味深い言語、会話を使う 〃 書いたものに対しての意見を求める 〃 補助があれば、より明確にするための校正をする 〃 説明や詳細を加えることにより、考えの増した校正をする 〃 補助があれば、資料(例、類語辞典、単語リスト)を使って、書いた物の有効性をより高める 〃 句読点、綴り、文法を校訂する 〃 補助があれば、磨きをかけて仕上げた作品を発表する ↗ 正確に綴るため、視覚策、綴りの規則、単語の一部の知識を使用する頻度が上がる ↗ 補助があれば、コンマ・アポストロフィを正確に使う ☺ 補助があれば、目標の定まった有効な書き方をする為に基準を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 整理されたノンフィクション作品(例、報告書、手紙、伝記、自伝)を書きはじめる ☑ 補助があれば、問題とその解決を含んだ筋の物語を展開させる ☑ 補助があれば、物語の登場人物を創造する ☑ 意深く選択した言葉をつかって詩を書く ☐ 文の長さや複雑な構文を試しはじめる ☐ 補助があれば、導入・終結に変化をそえる ☐ 補助があれば、説明・詳細・直喩を使う ☐ 補助があれば、会話も使う 〃 書く物を企画するにあたり、様々な方策を使う 〃 補助があれば、目的と読み手に適した書き方をする 〃 補助があれば、明確な特性を持った書き方(考え、構成、単語選択、流暢な文脈、意見、慣習)に校正する 〃 補助があれば、自分の作品への他人の提案を組み入れる 〃 句読点、綴り、文法の校訂の正確さを増す 〃 補助があれば、校訂に道具(例、辞書、単語リスト、スペルチェッカー)を使う ☺ 補助があれば、異なったジャンルにおいて有効な書き方をする為の基準を発達させる 	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 考え・感情・意見に説得力のある書き方をする ☑ 問題とその解決を含んだ筋の物語を創造する ☑ 主人公・背景を詳しく説明し物語を展開させはじめる ☑ 簡単な書誌を含む、整理され、流れるようなノンフィクションを書き始める ☐ 補助があれば、理由・例を含む結合力のある段落を書く ☐ 段落どうしをつなく移行的な文を使う ☐ 文章構成・導入・終結の変化に富む ☐ 記述的な言語・詳細・直喩を使い始める ☐ 読者の感情的反応を喚起するような述べ方をする ☐ 様々な資料からのトピックについての情報を統合しはじめる 〃 明確な特性を持った書き方(考え、構成、単語選択、流暢な文脈、意見、慣習)に校正しはじめる 〃 校訂に一人で道具(例、辞書、単語リスト、スペルチェッカー)を使う 〃 磨きをかけて仕上げた作品を一人で選び発表する ↗ 複雑な句読点(コンマ、コロンの、セミコロン、引用符)を正確に使い始める ☺ なったジャンルにおいて有効な書き方をする為の基準を発達させる 	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 異なったジャンルにおいて、一人で目的と読み手に適した書き方をする ☑ クライマックスのある筋を創造できる ☑ 詳しく信じられる背景・登場人物を創造できる ☑ 書誌をふくめ、整理され、なめらかで詳しいノンフィクションをひとりて正しい形式で書ける ☐ 理由・例を含む結合力のある段落を書く ☐ ひとりで、記述的な言語・詳細・直喩・アイデアを膨らます形象を使う ☐ 登場人物の深みを増すように、会話を使うようになる ☐ 個人的意見を作品に頻繁に組み入れる ☐ トピックについての情報を、ひとりで様々な資料から統合させる ☐ 情報伝達に的確である場合、チャート、グラフ、表を作成する 〃 作品を整理し、強固なものにする為に準備策をとる 〃 明確な特性を持つに書き方(考え、構成、単語選択、流暢な文脈、意見、慣習)に統一を修正する 〃 校訂策に削除を含める 〃 自分の作品への他人の提案を一人で組み入れる ↗ 複雑な句読点(コンマ、コロンの、セミコロン、引用符)を正確に使う頻度が上がる 	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 整理され、なめらかで正確で深みのある参照文を含めたノンフィクションを正しい書誌形式で書く ☑ 結合力のある流暢かつ印象的な詩・フィクションを書く ☐ 有効な移行分を使い、段落をはっきりした順で書く ☐ 比喩表現を(例、形象、隠喩、擬人法・予示)使い始める ☐ 物語に有効に会話を織り込む ☐ 筋・登場人物・情況・雰囲気(文学的要素)を友好的に発展させる ☐ 独自の意見と記述スタイルを伸ばす 〃 一人で、複数の草案から校正しながら書く 〃 他人からの意見を求め、自分の作品強化に他人の提案を一人で組み入れる 〃 一人で目的と読み手に適した磨きのかかった書き物を発表する 〃 記述手順を習得する ↗ 常に正しい文法(主語・動詞の一致、時制)を使う ☺ 自信と能力を持ってトピックについて書ける ☺ 複雑・難解な記述作品にひとりで挑戦する ☺ 自分の記述を分析・評価しながら一人で目標を設定する

☒ 文型 ☐ 内容と特徴 〃 進行過程 ↗ 技術と慣習 ☺ 姿勢と自己評価